

信州大学医学部附属病院 消化器外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年12月08日

「直腸癌根治切除後一時的人工肛門早期閉鎖の有効性と安全性、患者 QOL」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4982
研究課題名	直腸癌根治切除後一時的人工肛門早期閉鎖の有効性と安全性、患者QOLに関する研究
所属(診療科等)	消化器外科
研究責任者(職名)	宮川雄輔(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年12月31日
研究の意義、目的	直腸癌手術で一時的人工肛門を造設した患者様において、従来、慣例的に術後12-24週以降に行われてきた人工肛門を早期閉鎖(術後4週間)することの有効性と安全性について明らかにすることを目的とした研究で、直腸癌手術を受けられる患者様の生活の質を向上させることに貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2012年1月1日から2020年8月31日の期間に当院で直腸癌について一時的人工肛門を伴う手術を受け、その後人工肛門を閉鎖した方。
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、医療費など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、人工肛門を早期閉鎖することと各種診療記録から得られた術後成績との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 宮川雄輔(信州大学医学部外科学教室:助教) 電話: 0263-37-2654

【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査】の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。